

<対策のポイント>

気候変動に伴い激化する降水形態や活発化する地震及び火山活動に対応するため、被災状況に応じた機動的な事業実施等による復旧の加速化・効率化や危険度の高まった地域における事前防災力の向上を図るとともに、新技術の導入による施工の省力化等により事業体等の負担軽減を推進します。

<事業目標>

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加 (約56.2千集落 [平成30年度] →約58.6千集落 [令和5年度])

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 激化する降水形態への対応強化

- 山地災害が広域化・複雑化し、機動的な事業実施が求められる中、**緊急的な予防・復旧対策**について、年度毎の計画額に縛られず**事業期間全体の計画額で採択をする事業メニュー**を追加します。
- 復旧の加速化・効率化を図るため、**災害関連緊急治山事業等の後続事業の前倒し着手**を可能にします。
- 激甚災害に見舞われた地域における既存施設の機能強化対策**を強化します。
- 保安林整備事業において、人家や重要インフラ近接地における**危険木による被災リスクの軽減**を図るための**事前伐採等**を支援対象にします。

2. 地震及び火山活動の活発化に対する事前防災力の向上 (農山漁村地域整備交付金)

震度5弱以上の地震が発生又は火山噴火警戒レベルが2以上となった地域について、緊急的な減災対策として、①**林地荒廃防止事業の対象エリア**にするとともに、②不安定土砂の除去等に併せて**応急対策資材の配備・備蓄等**が可能な事業を創設し、事前防災力の向上を図ります。

3. 災害の激甚化を踏まえた事業体・自治体の負担軽減

- 施工の省力化等に資する**ICT活用工事等**について、治山工事に加え**地すべり防止工事における導入を推進**するとともに、**歩掛等の適正化**を図ります。
- 円滑かつ効率的な事業実施のため、**所有者不明地の権利把握のための調査が補助対象であることを明確化**し推進します。

○激化する降水形態への対応強化



広域化・複雑化する山地災害



激甚な災害地域における、機能強化対策の強化



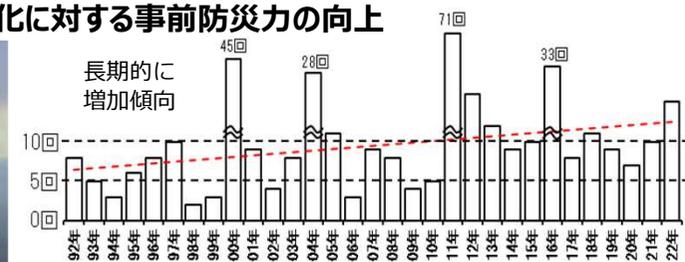
人家近接地における危険木被害

○地震及び火山活動の活発化に対する事前防災力の向上



(気象庁HP)

令和4年7月桜島の噴火



震度5弱以上の発生回数 (2022年は11月時点の発生回数)

○災害の激甚化を踏まえた事業体・自治体の負担軽減



マシンガイダンスによる掘削 (基地局で衛星からの情報を受信し、機械へ転送)



レーザスキャナを用いた3次元起工測量

ICT等新技術の導入による施工の効率化や精度向上

【お問い合わせ先】 林野庁治山課 (03-6744-2308)

<事業の流れ>



※ 国有林や民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

森林整備事業 <公共>

【令和5年度予算概算決定額 125,249 (124,718) 百万円】
 (令和4年度補正予算額 43,900百万円)

<対策のポイント>

カーボンニュートラルを見据えたグリーン成長を実現するため、森林吸収量の確保・強化や国土強靱化、林業の持続的発展等を図るべく、**間伐の着実な実施に加え、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等を推進**します。

<事業目標>

森林吸収量の確保に向けた間伐の実施 (45万ha [令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均])

<事業の内容>

1. 間伐や再造林、路網整備等

森林環境保全直接支援事業	23,813 (23,774) 百万円
森林資源循環利用林道整備事業	2,999 (2,633) 百万円
林業専用道整備事業	541 (523) 百万円
山村強靱化林道整備事業	2,295 (2,299) 百万円

- ① 間伐や再造林等の省力化・低コスト化を進めつつ、適切な森林整備を推進し、健全な森林を育成します。
- ② 林業適地等における、路網の開設・改良・機能回復を支援します。
- ③ 防災上重要な幹線林道の開設・改良を支援し、林道の強靱化を推進します。
- ④ 個別施設計画に基づく緊急性の高い林道施設の老朽化対策を支援します。

2. 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林の整備

特定森林再生事業	2,061 (2,057) 百万円
水源林造成事業	25,273 (25,261) 百万円

- ① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林等について、**公的主体による復旧・整備**を推進します。
- ② **重要インフラ施設周辺の森林整備**を支援することで災害の未然防止につなげます。

<事業イメージ>

着実な再造林等に向けた対応

低コスト造林による
再造林面積の確保



林業適地における路網整備の推進により
森林施業の効率化を図り再造林等を後押し



- 林業に適した区域内において
- 林道改良の支援を強化
 - 林道の機能回復を新設

林業適地における
資源の適正な管理

多面的機能の
持続的発揮



森林整備事業のICT活用に向けた対応



航空レーザ測量データを基にした路網線形計画策定や、
3次元測量・設計導入による詳細設計作成

国土強靱化等に向けた対応

● 林道施設の老朽化・長寿命化対策

個別施設計画に基づく緊急性の高い
林道施設の老朽化対策を支援



橋梁の老朽化



長寿命化

● 森林作業道の改良・早期復旧対策

森林作業道の早期復旧や被災を予防する
ため、継続的に使用される森林作業道
の単体での改良・復旧を支援

※ R4補正予算から措置



法面の崩壊



復旧・開通

【お問い合わせ先】 林野庁整備課 (03-6744-2303)

<事業の流れ>

1/2、3/10等

都道府県、市町村、森林所有者等 (1、2の事業)

国立研究開発法人森林研究・整備機構 (2の事業の一部)

※ 国有林においては、直轄で実施